

社会福祉法人 真宗協会



障害者支援施設

帯広慈光学園

# やまびこ

Pick Up!

- ・笑顔があふれる「慰労会」特集
- ・自立課題～特性を活かし自立に繋げる～
- ・café jikou～調理実習メニュー～

3月18日、「帯広慈光学園 慰労会」が開催されました。今年度も昨年同様、コロナウイルス感染予防のため学園内で開催する運びとなりました。桜井一也さんの照れながらの開会の言葉、「はじめましょう！」でスタート。午前の部では利用者の皆様の顔写真で作った慈光学園特製オリジナルかるた大会を行いました。利用者様の好きな物や得意な事をヒントにしたワードを職員が即興で読み上げ、新年会より難易度を上げて挑戦して頂きました。勘の良い利用者様は一つ目のヒントで取られたり、わかりにくいヒントの時には、側に居る職員が一緒に取りました。時には絵札にない職員の事を示すワードやヒントが出てきて、「誰の事だ？」と一生懸命頭を悩ませたり笑ったりする場面も見られ、予想以上の盛り上がりで、あつと言う間に昼食の時間が来てしまいました。

今回は給食委託会社のレオックさんに、エビチリなどの中華料理をメ

日中活動お疲れ様♪  
慰労会を開催  
しました!

インとした出来立ての美味しいごちそうを作って頂き、のんびりと昼食を楽しみながら「おなかいっぱーい！」と各居室から利用者様の満足そうな声が聞かれました。

食後には大正町の老舗「あくつ」さんのケーキもあり、女性利用者の方々はとても食べきれないとの事で、慰労会が終わってからののお楽しみも出来ました♪

午後の部ではカラオケ大会の予定でしたが、機材の不具合により、急遽玉入れ大会に変更することになりました。それでも皆さん気持ちを切り替えられ、グループ対抗の玉入れに全集中されて楽しまれました。最後に小森施設長より、各グループに一年間の活動を労う表彰状と記念品を贈らせて頂きました。グループからの代表者2名にそれぞれ手渡す予定でしたが、あまりの嬉しさに一人で両方頂くといった楽しいハプニングもあり、笑顔あふれる有意義な一日になりました。また一年元気に過ぎましたようね。

(原田生活支援員)





# 慰労会

## ～写真館～



はじめましょう!



見つけたよ!

# カルタ

# 大会




これかな?



ありましたー!



どうだ!





# 昼食



美味しそう!



目指せ優勝!



# アジャタ



素敵なフオトスポット♪

今年も一年頑張りました!  
来年度も笑顔で頑張ります!



お疲れ様でした!



# 表彰式



# 自立課題

## ～特性を活かし、自立に繋げる～

目的は「自信を持って頂くため」です。誰の手も借りずに一人で取り組み完成させる事での「達成感」を持って頂き、自尊感情を育む事ができます。

また、様々な課題を通して生活の質や技能の向上に繋がったり、利用者様個々の「出来る事」を発見する手助けにもなります。

「自立課題」とは、主に自閉症の方に取り組んで頂くプログラムとして広く実践されているものです。ストローを穴に入れたりビーズを紐に通したりと、「何のため？」と思われるかも知れませんが、この活動の一番の

例としてスナックボタンを付ける課題を「凹凸を理解し組み合わせる事が出来ると洋服の着脱が自ら行えるのではないか？」と自立生活に役立つように発展的な要素を取り入れ作成したり、キャップを締める、外すといった課題では、「ゴミ分別作業に繋がるのでは？」等、利用者様の特性を活かせるよう職員が工夫を凝らして提案しています。

日々の体力作りの活動の他に、園内での時間をどの様に過ごすか？「受け身」ではなく、自ら進んで課題に取り組む「出来た！」と自信を持って頂けるよう、充実した余暇活動としても有用な「自立課題」ですが、既製品よりもなぜか職員手作りの方が人気が高く、どうやったら楽しんで頑張っているか？職員も勉強の毎日です。

(石田生活支援員)



## 私の得意なこと

### リネングループ

リネングループでは病院で使用されるバスタオルやおしぼりのしわを伸ばし、畳んで、最後は紐



で結束する作業を行っています。その中で活躍されている4名の利用者様を紹介します。まず一人目はバスタオルたのみの達人「荒木由美さん」両手を一杯に広げて大きなバスタオルを畳みます。次におしぼり伸ばしの達人「中島かず子さん&黒崎めぐみさん」模様を見比べながら種別別に伸ばしてくれます。そして最後は結束の達人「松本千鶴さん」皆さんで畳んだタオルを紐できつく結束してくれます。その結束の速さと正確さは職員も到底かないません。

(高橋生活支援員)

### タイヤグループ

タイヤグループでは、中古タイヤのリサイクル作業を請け負っています。

作業場に運ばれてくる中古タイヤを「早田大祐さん」がタイヤとホイールに分解し「小笠洋治さん」がタイヤを、「高橋智之さん」がホイールを、それぞれ所定の位置に積み重ねて行きます。その連携プレーには職員も目を見張るほど。分解したタイヤはグループ全員でトラックに積み込むなど、それぞれが受け持つ得意な仕事で活躍しています。

(原田生活支援員)



**ミート&たらこ  
パスタランチ Set**




リネングル  
ー普  
荒木由美さ  
んお手製♪

**Café jikou**



工夫やアイディアで、学園内でも美味  
しく楽しく調理実習を行っています♪

**野菜マシマシ!  
ラーメン&餃子 Set**




リハワークグ  
ルー普  
伊東美緒さん  
おすすめ!

(石原生活支援員・嘉藤生活支援員)

**ホイップたっぷり!  
ホットケーキ Set**




清掃グル  
ー普  
加藤真吾  
さんメロ  
メロ♪



美味しいね♪



〜お品書き〜  
ちらし寿司  
すまし汁  
含め煮  
炒り豆腐  
桜餅



3月3日は桃の節句という事で、  
昼食にちらし寿司や桜餅、甘酒など、  
春を感じるメニューが提供されまし  
た。利用者様の「美味しい!」とい  
う声が沢山聞かれ、笑みがこぼれて  
いました。「一年の禍を春のひな流し  
で祓う」これがひな祭りの起源なの  
だそうです。コロナウイルスという  
禍も、早く収束してくればと願っ  
ています。  
(石原生活支援員)

**ひなまつり**  
〜季節を楽しむ食事〜





1月に利用者様が描いたポスタ  
ーコンクールの作品に嬉しいお知  
らせがありました♪  
天野里美さんが「佳作」、木村洋  
賢さんが「入選」と、素晴らしいご  
評価を頂きました。お祝いに図書カ  
ードが贈られ、嬉しそうに「ジャニ  
ーズの本が欲しいな」と天野さん。  
木村さんは大好きなファイターズ  
の本を希望されていました♪  
一生懸命作った作品が評価される  
のは大変うれしい事ですね。  
(稲守生活支援員)

**ポスターコンクールに  
入選しました!!**

### 「食べる」を支えるために 摂食・嚥下体験

慈光学園では、利用者様の高齢化や嚥下機能の低下に対し、食事を飲み込みやすいよう一口大にカットする「きざみ食」や食事をゆつくりと喉へ運んでくれる「トロミ」を使用しています。その食事を、実際に食事支援を行う職員も体験しようという事で研修会を行いました。

利用者様の立場に立ち、実際にきざみ食やトロミを使用した食事を体験する事で、気づくことや感じることを、注意しなければならぬことを改めて再認識することができました。今後も利用者様に安心安全に食事をして頂けるよう、研修会や勉強会を行ってまいります。

(嘉藤生活支援員)



### 自家発電装置を 導入しました

平成30年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震では、北海道全域が2日間にわたり停電(ブラックアウト)となり、皆様の記憶にも新しい事と思います。50名の方が利用されている帯広慈光学園でも多大な影響を受け、特に給食部門では通常の食事が提供できないなど、大変なご迷惑をお掛けしました。その時の教訓により、今回新たに自家発電装置を導入いたしました。できればあのような停電は二度と起きては欲しくないところではありますが、有事の際は利用者様の生活を守るべく、照明やコンセント、使用する用途を切り替えながら一定程度の電気供給となりますが食事や入浴において不便を最小限に抑える事が出来るようになります。

(高橋生活支援員)

設置した自家発電装置



### 授産品販売の お知らせ

昨年栽培し、乾麺として製品化した「慈光蕎麦」、希少な韃靼そばという事もありご好評をいただいております。在庫はまだ若干数ありますのでぜひご注文頂き、お試し頂ければと思います。又、帯広駅内「福祉のひろば」様でも販売させて頂いております。利用者様と作成した牛乳パック椅子やコースター、レジンのアクセサリー等の授産品もありますので、近くにお越しの際にはお立ち寄り頂き、お手にとり取って頂ければ幸いです。「慈光蕎麦」は一袋200g入り300円となっております。お気軽に学園までお問い合わせ下さい。

(石田生活支援員)



### 行事予定

- 4月 新年度体制発表  
花まつり
  - 5月 焼肉行事
- ※他、行事につきましては、感染症予防の為、代替行事等の対応を行っています。

学園のフレッシュな情報を掲載しています！ぜひご覧ください！



### 編集後記

雪解けも進み、新しい季節の訪れを感じます。  
引き続きであります、このやまびこを通して少しでも利用者様の元気な様子をご覧頂き、安心頂ければ幸いです。

【発行】 帯広慈光学園

0155-64-5106

【編集責任者】

施設長 小森 成人

【編集者】生活支援員

石田 真咲 楠木 優介

稲守 翔平 高橋 信

原田 明嗣 嘉藤 美咲

石原 愛華